

Bing の AI チャットを試してみた

Microsoft 社の Bing 検索に AI チャットが実装され、さっそく試してみました。

Microsoft アカウントと Office365 アカウントは別物

Bing の AI チャットを使用するには Microsoft アカウントにログインして順番待ちリストに登録する必要があります。

Bing ホームページ上部の「チャット」をクリックすると Microsoft アカウントのログインを求められるのですが、普段仕事で使用している Office365 の情報を入力しても「アカウントが存在しません」というメッセージになります。

Office365 は Microsoft アカウントでログインしているものと思いこんでいたのですが、調べてみたところ Microsoft アカウントと Office365 アカウントは別物だということが分かりました。

AI チャット関連でアカウントに言及している記事は見当たらなかったのが一般常識なのかもしれませんが、もしかしたら知らない方もいるかもしれないので情報共有させていただきました。

改めて Microsoft アカウントを作成して無事ログインすることができました。

AI チャットを試してみる

このスクリーンショットは、Bing AI チャットの検索結果を示しています。検索クエリは「kintone ステータス 未処理 文字色 変更 javascript」です。検索結果として、kintoneでステータスが未処理のレコードの文字色を変更するjavascriptを教えるという質問に対する回答が生成されています。回答には、条件書式プラグインを使用する方法や、kintoneのステータス名の変更や追加・削除の方法が説明されています。また、詳細情報として、kinbozu.com、blog.kintone.com、jp.cybozu.helpなどのリンクが提供されています。

このスクリーンショットは、Bing AI チャットの検索結果を示しています。検索クエリは「javascriptのコード例を教えてください」です。検索結果として、kintone ステータス 未処理 文字色 変更 javascript を検索しているという情報が表示されています。回答として、以下のようなJavaScriptコードが提供されています。このコードは、kintoneのステータスの文字色を変更するためのものです。

```
(function() {
    "use strict";

    kintone.events.on('app.record.index
.show', function(event) {
        var elStatus =
kintone.app.getFieldElements('ステ
ータス');
        for (var i = 0; i <
elStatus.length; i++) {
            if
(elStatus[i].textContent === '未処
理') {
                elStatus[i].style.color = 'red';
            }
        }
    }
})
```

試しにプログラミングコード例を教えてくださいました。やや回り道はしましたがコード例を教えてくださいました。

教えてもらったコードを実装してみるとイメージ通りに動きました。

今回はあえて答えやすそうな質問をしましたが、Bing の AI チャットはインターネット上の情報を学習して回答しているため、質問によっては意図に沿った回答が得られなかったり不正確な回答が返ってくる可能性もあります。

また、記事やメールの文面などを考えてくれる機能もあります。

試しに「寝坊して遅刻した時の言い訳」のメール文面をお願いしたところ、原因だけではなく対策まで盛り込んだ完璧な文面を書いてくれました。

普通に検索しても答えは得られますが、AI チャットを使うことでよりすばやく求めている情報にアクセスすることができるようになったと思います。

昨年はお絵描き AI の Stable Diffusion などが話題になり、今年は ChatGPT が大きな話題になりました。Microsoft 社が Bing 検索に AI チャットを導入し、検索エンジン最大手の Google 社も対話型 AI 「Bard」の発表をし、AI 普及の加速をますます身近に感じる機会が多くなりました。